

< 資料編 >

SAICM(国際化学物質管理への戦略的アプローチ)国内実施 計画についてのアンケート調査(自治体類型別集計)

2017年9月

NPO 法人有害化学物質削減ネットワーク(T ウォッチ)

◆以下の質問の【1つに○】、【あてはまるものすべてに○】などの指示に従ってお答えください。

問1. あなたの自治体の環境基本計画あるいはこれと同等の計画には、化学物質による環境汚染の未然防止に関する取組みは含まれていますか。(化学物質による環境汚染の未然防止とは、地域で取り扱われ、地域に排出されている、あるいは廃棄物として移動している化学物質の全般的な情報の把握、対策を進める優先物質の決定、削減目標の設置など、地域の環境管理に関連する化学物質対策をいいます。)

【1つに○】

	(数字は%、	都道府県	政令市	届け出自治体	合計の順)
1. 含まれている		83.3	82.4	69.0	78.4
2. 含まれていない		16.7	17.6	20.7	18.2
3. 環境基本計画は策定されていない		0.0	0.0	10.3	3.4
4. その他(具体的に)

問2. 化学物質に関する住民の意識についてのアンケート調査等を実施したことはありますか。

【1つに○】

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 最近(5年以内ぐらい)実施した	14.3	23.5	3.6	12.6
2. それ以前に実施したことがある	2.4	11.8	7.1	5.7
3. 実施したことはない	83.3	64.7	89.3	81.6

問3. 議会の本会議や環境関連の常任委員会で、以下のような化学物質問題が取り上げられたことはありましたか。【あてはまるものすべてに○】

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 環境ホルモン問題	47.6	58.8	27.6	43.2
2. ダイオキシン問題	64.3	76.5	44.8	60.2
3. 放射能汚染問題	71.4	70.6	41.4	61.4
4. シックハウス、シックスクール、化学物質過敏症問題	31.0	76.5	27.6	38.6
5. 合成洗剤問題	21.4	70.6	13.8	28.4
6. 農薬問題	40.5	64.7	20.7	38.6
7. 大気汚染(NO _x 、PM2.5等)問題	90.5	70.6	51.7	73.9
8. 水質汚濁問題	69.0	58.8	41.4	58.0
9. 土壌・地下水汚染問題	33.3	35.3	51.7	39.8
10. 廃棄物問題	78.6	82.4	51.7	70.5
11. 悪臭問題(香りの害)	45.2	58.8	41.4	46.6
12. 騒音・振動問題	47.6	41.2	37.9	43.2
13. その他(具体的に)	7.1	11.8	0.0	5.7
問3のその他。フロン回収。マイクロプラスチック問題。				
14. 化学物質に関する問題は取り上げられたことがない	0.0	5.9	6.9	3.4

◆化管法(PRTR法)について伺います。

問4. 住民に対してどういった情報を提供していますか。【1つに○】

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 集計情報(届出情報のみ)	31.0	70.6	37.9	40.9
2. 集計情報(届出情報・届出外情報双方)	54.8	23.5	0.0	30.7
3. 集計情報に加えて自治体内の排出移動の問題点など	2.4	5.9	0.0	2.3
4. 特に情報提供は自治体としてはしていない	11.9	0.0	55.2	23.9
5. その他()	0.0	0.0	6.9	2.3

問5. あなたの自治体では、PRTR 情報をどのように活用することを検討されましたか(あるいは活用されましたか)。【あてはまるものすべてに○】

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 汚染事件等の <u>原因究明調査</u> にPRTRデータを活用できないか検討した	45.2	5.9	20.7	29.5
2. 環境 <u>モニタリング計画</u> の立案にPRTRデータを活用できないか検討した	40.5	29.4	10.3	28.4
3. 自らの自治体の <u>環境方針</u> の策定・改訂時にPRTRデータを活用できないか検討した	7.1	11.8	0.0	5.7
4. 大気汚染防止法の <u>H₂C、VOC削減</u> のための基礎データとして活用できないか検討した	31.0	11.8	6.9	19.3
5. 水質汚濁防止法の <u>事故時対応や汚染予防対策</u> をはかる時に活用できないか検討した	31.0	11.8	24.1	25.0
6. <u>下水道法</u> の <u>排出元</u> の状況を把握する時に活用できないか検討した	0.0	5.9	0.0	1.1
7. 個別事業所からの排出・移動量を臭気などの <u>苦情の対応</u> に活用できないか検討した	14.3	23.5	3.4	12.5
8. 大量に排出・移動している <u>特定の物質</u> について、原因を探るなど検討した	16.7	17.6	6.9	13.6
9. 水系への排出について、 <u>河川の流域の環境保全</u> に活用できないか検討した	16.7	0.0	3.4	9.1
10. 届出外情報の家庭からの排出・移動量について <u>衛生関係や消費生活関係</u> で活用できないか検討した	2.4	5.9	0.0	2.3
11. 届出外情報の農業関連からの排出・移動量について <u>農政関係</u> で活用できないか検討した	0.0	0.0	0.0	0.0
12. 届出外情報の輸送機関による情報が <u>大気汚染や交通対策</u> に活用できないか検討した	0.0	5.9	0.0	1.1
13. <u>既存のほかのデータ</u> (大気、水質の常時監視測定値、製品出荷額、自動車走行量、農地面積など) とつきあわせて検討をおこなった	19.0	29.4	6.9	17.0
14. その他 (具体的に)	14.3	23.5	10.3	14.8

問5のその他。化学物質が含有された産業廃棄物の処分状況の確認の際に活用した。化学物質の削減を事業者へ啓発する際の対象物質の選定。協定を締結する企業が扱っている化学物質の量や種類を把握するため。県条例に基づく立ち入り調査の対象事業所の選定データとして使用。市域の環境リスク評価に活用している。事故、災害時に該当施設から流出する危険予測。他の公害関係法令の届け出情報と照合し、矛盾があれば立ち入り検査やヒアリングを行う。

土壤汚染対策法における地歴調査に活用できないか検討した。
 土壤汚染対策法における土壤の調査命令の判断材料として利用。
 土壤汚染対策法に基づく調査の要否の判断に使用。
 土壤汚染対策法の運用時に検討資料として使用。
 有害大気での地点の選定で活用。
 有害大気汚染物質のモニタリング地点、測定実施項目の見直し。

問6. あなたの自治体は、以下の組織や団体と、地域のPRTRのデータについて説明会、意見交換の場を持ったことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 経済団体	2.4	5.9	0.0	2.3
2. 消費者団体	2.4	0.0	0.0	1.1
3. 環境団体	4.8	5.9	0.0	3.4
4. 町内会・自治会	2.4	17.6	0.0	4.5
5. 教育関係団体	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 労働組合団体	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 排出・移動量の多い事業所等	26.2	47.1	17.2	27.3
8. 他の自治体	7.1	35.3	20.7	17.0
9. 国	2.4	0.0	0.0	1.1
10. その他（具体的に)	7.1	5.9	3.4	5.7

問6のその他。環境保全に関心のある事業者。関係行政職員。一般県民全体に呼びかけた。

事業者向けのセミナーで排出移動の状況を情報提供した。

問7. 化管法のPRTR情報について、地域住民、事業者、行政が直接意見を交換する「リスク・コミュニケーション」の機会を設けましたか。【1つに○】

1. 定期的実施している	9.8	11.8	0.0	7.1
2. 何度か実施したことはある	12.2	0.0	7.4	8.2
3. 過去に実施したことはあるが現在はしていない	14.6	11.8	3.7	10.6
4. 検討はしたことがある	9.8	35.3	11.1	15.3
5. 検討もしたことはない	53.7	41.2	77.8	58.8

問7。「県庁出前講座」のメニューに「化学物質対策」を設け、県民等の要望に応じ説明することとしている。

問8. リスク・コミュニケーションの機会を作るのに、困難を感じている点がありますか。

【あてはまるものすべてに○】

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. <u>事業者の協力が得られにくい</u>	23.8	35.3	13.8	22.7
2. 当該地域には化学物質問題があまりないので、 <u>必要性が小さい</u>	23.8	17.6	37.9	27.3
3. 自治体がそのような機会をもうけることは <u>法律上の義務ではないから</u>	21.4	5.9	6.9	13.6
4. <u>事業者の糾弾</u> を目的にして参加する住民がいると思われるので	7.1	5.9	10.3	8.0
5. 住民にそのような <u>ニーズはない</u> と思われるので	21.4	11.8	20.7	19.3
6. 当該部署に対応できる <u>人員、予算、情報が不足</u> しているから	40.5	35.3	24.1	34.1
7. <u>事業者がすでに地域住民との対話を実施</u> しているから	14.6	29.4	13.8	17.2
8. 地域の環境団体からそのような機会を設けてほしいという <u>申し出がない</u> から	23.8	23.5	31.0	26.1
9. その他（具体的に ）	7.1	11.8	0.0	5.7

問8のその他。

（県—都道府県、政令—政令市、届—届け出自治体）

本来事業者が主体となるべきものであるため、行政が実施主体となることを前提とすべきではない。（県）

開催場所や対象者の設定が難しい。現在は、要望があれば説明する体制（県庁出前講座としている）。（県）

県としては化学物質の適正管理やリスコミの実施に関する研修会などにより普及啓発を行っており、事業者が開催するリスコミには参加している。（県）

公平中立で専門知識を有し、住民からも事業者からも信頼される学識経験者が必須。（政令）

リスク・コミュニケーションを必要とする住民や事業者に関する情報の収集が困難。（政令）

◆環境汚染の未然防止や災害対策について伺います。

問10. 東日本大震災以後、あなたの自治体で以下のような化学物質による環境汚染の未然防止等のために、既存の条例改正や行政指導等をしたものがあればお答えください。【それぞれ1つに○】

<10-1> 環境モニタリングの強化

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 条例制定や改正で対応した	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 行政指導等で対応した	7.1	11.8	0.0	5.7
3. 特に取り組んでいない	90.5	88.2	100.0	93.1

<10-2> PRTR 事業所等の緊急時対応計画の策定

1. 条例制定や改正で対応した	7.1	17.6	21.4	13.8
2. 行政指導等で対応した	7.1	0.0	21.4	10.3
3. 特に取り組んでいない	83.3	82.4	57.1	74.7

<10-3> PRTR データの届け出に取扱量あるいは保管量の届け出を加える

1. 条例制定や改正で対応した	14.3	11.8	28.6	18.4
2. 行政指導等で対応した	4.8	0.0	7.1	4.6
3. 特に取り組んでいない	78.6	88.2	64.3	75.9

<10-4> PRTR データの排出量・移動量の多い事業所への指導強化

1. 条例制定や改正で対応した	2.4	5.9	3.6	3.4
2. 行政指導等で対応した	14.3	17.6	14.3	14.9
3. 特に取り組んでいない	81.0	76.5	82.1	80.5

<10-5> 家庭で排出・移動量の多い製品に関する啓発

1. 条例制定や改正で対応した	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 行政指導等で対応した	9.8	5.9	0.0	5.8
3. 特に取り組んでいない	87.8	94.1	100.0	93.0

<10-6> 災害対策の中に有害化学物質対策を組み込むこと

	都道府県	政令市	届け出自治体	合計
1. 条例制定や改正で対応した	11.9	17.6	10.7	12.6
2. 行政指導等で対応した	9.5	11.8	14.3	11.5
3. 特に取り組んでいない	76.2	70.6	75.0	74.7

<10-7> その他

<p>ありましたら取り組みの内容を具体的にご記入ください。</p> <p>10-3 は震災以前から取り組んでいる(取扱量のみ)。(県)</p> <p>PRTR 法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例による化学物質管理制度に関しては、池田市、箕面市、豊能町、及び能勢町で共同処理しており、池田市、箕面市、豊能町、及び能勢町で共同処理しており、池田市が幹事市です。(届)</p> <p>化学物質を管理している各事業所で対策をとっているため、現時点で条例改正等は考えていない。(届)</p> <p>熊本地震の際には特に大きな問題の発生は確認できませんでした。(政令)</p> <p>大阪府条例で対応している項目もある。(届)</p> <p>地域防災計画の中にアスベスト対策を位置付けた。(県)</p> <p>平成 17 年に策定した「指定化学物質適正管理指針」において、災害地等における環境汚染の未然防止対策、対応マニュアルの整備等。(県)</p> <p>平成 27 年に「特定化学物質等取扱事業取扱事業者が特定化学物質等を適正に管理するために取り組むべき措置に関する指針」を改正した。(県)</p>
--

問11. 東日本大震災以後、緊急時の化学物質管理のために環境部局として取り組まれてきたこと、検討していることがありましたら、お答えください。【それぞれ1つに○】

<11-1> 危機管理部署ないし防災担当課との連携をとれるような仕組みを新設した(たとえば、企業が取り扱い、保管している化学物質について一元的に台帳にするなど)

1. すでに取り組んでいる	14.3	29.4	14.3	17.2
2. 検討はしている	16.7	5.9	3.6	10.3
3. 考えていない	69.0	64.7	82.1	72.4

<11-2> 危機管理部署ないし防災担当課との連携をとれるよう仕組みを見直し、改善した

1. すでに取り組んでいる	14.3	41.2	7.1	17.2
2. 検討はしている	11.9	5.9	14.3	11.5
3. 考えていない	73.8	52.9	78.6	71.3

<11-3> 危機管理部署ないし防災担当課にPRTR情報を提供した

1. すでに取り組んでいる	9.5	11.8	3.6	8.0
2. 検討はしている	7.1	11.8	10.7	9.2
3. 考えていない	83.3	76.5	85.7	82.8

<11-4> 企業に対して、化学物質の緊急時対応の計画提出をするよう指導した

1. すでに取り組んでいる	14.3	23.5	32.1	21.8
2. 検討はしている	7.1	0.0	7.1	5.7
3. 考えていない	78.6	76.5	60.7	72.4

<11-5> 地域住民に対して、化学物質による地域の緊急時の予測情報などを提供する場をつくつた

1. すでに取り組んでいる	2.4	0.0	0.0	1.1
2. 検討はしている	4.8	5.9	0.0	3.4
3. 考えていない	92.9	94.1	100.0	95.4

<11-6> 地域住民と化学物質の緊急時に関するハザードマップづくりを行うようにした

1. すでに取り組んでいる	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 検討はしている	2.4	0.0	0.0	1.1
3. 考えていない	97.6	100.0	100.0	98.9

<11-7> 地域防災計画に消防法・毒劇法・高圧ガス保安法以外の化学物質による緊急時の情報を盛りこんで改訂した

1. すでに取り組んでいる	31.0	47.1	14.3	28.7
2. 検討はしている	4.8	0.0	0.0	2.3
3. 考えていない	64.3	52.9	85.7	69.0

<11-8> 総合計画に消防法・毒劇法・高圧ガス保安法以外の化学物質による緊急時の情報をもり

こんで改訂した

1. すでに取り組んでいる	7.3	0.0	3.6	4.7
2. 検討はしている	7.3	0.0	0.0	3.5
3. 考えていない	85.4	100.0	96.4	91.9

<11-9> 学校教育や社会教育で、災害時の化学物質汚染に関する学習を支援した

1. すでに取り組んでいる	7.1	0.0	0.0	3.4
2. 検討はしている	7.1	0.0	0.0	3.4
3. 考えていない	85.7	100.0	100.0	93.1

<11-10> その他

ありましたら取り組みの内容を具体的にご記入ください				
大阪府により管理化学物質の取扱量に関する情報を危機管理部局へ提供している。(届)				
富山県国土強靱化計画の中で有害物質の大規模拡散・流出対策として化学物質管理計画の策定の推進を位置付け。(県)				
平成29年に策定した「埼玉県災害廃棄物処理指針」に化学物質対策及び石綿対策を盛り込んでいる。(県)				

問12. 新たな取り組みを進める際や検討する際、課題ないし障害となるものは以下のどれですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 人員不足	73.8	58.8	64.3	67.8
2. 予算不足	57.1	58.8	39.3	51.7
3. 情報不足	35.7	41.2	35.7	36.8
4. 縦割りを改善する権限がない	7.1	0.0	14.3	8.0
5. 国の法制度の不備	11.9	5.9	3.6	8.0
6. 世論の支持や関心の少なさ	31.0	23.5	17.9	25.3
7. 特に大きな課題はない	14.3	5.9	14.3	12.6
8. その他（具体的に PRTR届出事務が膨大。（県） 検討していない。（県） 法改正などのきっかけがないため。（県）				

問13. 有害化学物質の排出削減等に向けた事業者の自主的管理推進のためにしている施策にはどのようなものがありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 事業者の自主管理に関する <u>実態把握</u> （ヒアリング、調査など）	26.2	41.2	35.7	32.2
2. 化学物質管理推進のための <u>技術的支援</u>	16.7	5.9	0.0	9.2
3. <u>融資制度</u> 等の設置	16.7	17.6	3.6	12.6
4. 化学物質の法規制、動向などの情報提供や事業所向けの <u>セミナー</u>	38.1	52.9	14.3	33.3
5. 事業者による化学物質排出量削減の自主的取組みの <u>事例紹介</u>	19.0	23.5	10.7	17.2
6. 先進的な取組みをしている事業者の <u>表彰</u>	2.4	5.9	0.0	2.3
7. 地域住民との <u>リスク・コミュニケーション</u> の場の設定の支援・調整等	11.9	11.8	10.7	11.5
8. 問13のその他。 PRTR届出、受理指導。（県） 京都府化学物質適正管理指針。（県）				
9. 特に取り組んでいる施策はない	38.1	35.3	50.0	41.4

問14. PRTR情報のより有効な活用を可能にするために、化管法にもとづく現行制度にはどのよ
うな改正が必要と思われますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 届出を <u>市区町村経由</u> にする	2.4	0.0	0.0	1.1
2. 都道府県経由の届出をやめ、 <u>国に直接届け出る</u> ようにする	26.2	23.5	14.3	21.8
3. 国の非点源情報を <u>市町村単位</u> でインターネット等で提供する	11.9	17.6	3.6	10.3
4. 国からの情報提供として大気以外の情報も <u>メッシュ情報</u> を提供する	9.5	0.0	3.6	5.7
5. 事業者から <u>取扱量</u> も届け出るようにする	42.9	35.3	17.9	33.3
6. 事業者から <u>保管量</u> も届け出るようにする	33.3	23.5	14.3	25.3
7. 事業者から <u>廃棄物の移動先</u> や移動した先での処理方法も届け出るようにする	9.5	0.0	3.6	5.7
8. 事業者からの届出書式に届出量・移動量の <u>増減の理由</u> を含めるようにする	50.0	58.8	32.1	46.0
9. 事業者に <u>緊急時対応計画</u> を事業所ごとに提出することを義務づける	21.4	23.5	25.0	23.0
10. 事業者による <u>地域住民への説明</u> を義務付けるようにする	4.8	0.0	7.1	4.6
11. 事業者からの届出書式をほかの環境関連法と統一し <u>提出負担を削減</u> するようにする	9.5	29.4	10.7	13.8
12. 自治体の立ち入り権限を盛り込む	9.5	17.6	3.6	9.2
13. 国の地図表示システムから <u>個別事業所に意見を届ける</u> ことができるようにする	0.0	5.9	7.1	3.4
14. <u>放射性物質</u> も届け出対象物質に加える	0.0	0.0	0.0	0.0
15. NO _x 、SO _x 、CO ₂ など他の環境関連法の規制物質も含めて化学物質に関する情報を <u>一元的に管理</u> する法律にする	2.4	17.6	0.0	4.6
16. 届け出対象物質の <u>見直し</u> を行う	9.5	0.0	3.6	5.7
17. その他（具体的に)				
問 14 のその他。				
排出量の算出方法を記載するようにする。(物質収支、実測、排出系数等)(政令)				

計算式による算出方法の再確認。(県)

8、9、10 に関しては、必要なことであるとは感じるが、化管法の本来の主旨計算式による算出方法の再確認。(県)

製造業については、製造物の概要についての説明書類を添付させる。(県)

電子届出の推進。(県)

燃料小売業の届け出は不要。卸売からの推計値で十分。(県)

排出量の削減はある程度進み、今後大きな削減が見込まれない中で、制度の在り方を検討していく必要あり。(県)

届け出対象業種の削減・見直し。

【 緊急時の化学物質災害や汚染の拡大の事前防止のために、今後、環境部局として取り組みたいと思われる対策(国への要望も含む)、地域における環境管理等の取り組みについて、日ごろからお考えのことがあればご自由にお書きください。】

PRTR 法(制度)の運用について以下の問題点があると考えます。1. 専門性を備えた職員の不在。2. 事務の目的や収集したデータの活用方策の曖昧さ。3. 自治体が事務処理を担うことが不適切であること。(県)

緊急時におけるアスベスト飛散を把握するためにレベル 1,2 の建材が使用されている建物のリストを事前に作成し、アスベストのハザードマップのようなものを作ることができないかと考えている。(政令)

日ごろから情報収集や情報整理を適切に行い、有事の際に PRTR データを有効に活用していきたいです。(政令)

SAICM 国内実施計画についてのアンケート調査

【単純集計】

2018年 10 月

NPO 法人有害化学物質削減ネットワーク(T ウォッチ)

SAICM(Strategic Approach to International Chemicals Management: 「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ」)とは、2020 年までに化学物質のリスクを最小化することをめざした国連環境計画(UNEP)と国際化学物質管理会議(ICCM)の行動計画です。国内では、国、自治体、企業、市民・NPO・NGO などさまざまな主体ごとの行動計画が進められています。T ウォッチでは、市民や NPO などが何をすべきか、国、自治体、企業など他の主体に何を望んでいるかについて、アンケートを行うことにいたしました。

回答は、無記名で統計的に処理させていただきます。お忙しいところ大変恐縮ですが、【1 つに○】、【あてはまるものすべてに○】などにしたがって、ご回答いただければ幸いです。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

◆まず SAICM や GHS(有害性マーク)表示について伺います。

問 1. 我々の身近には様々な化学物質が存在していますが、その中で、どのようなものについて不安を感じますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 工場や廃棄物焼却施設などから排出されている化学物質	84.8
2. 自動車排ガスに含まれている化学物質	72.3
3. 農薬に使用されている化学物質	94.6
4. 家庭用品に含まれている化学物質	88.8
5. 不安は感じていない	1.1
6. その他(具体的に) 8.9

問 2. 2006 年に UNEP(国連環境計画)と国際化学物質管理会議(ICCM)は、「国際的な化学物質管理の戦略的アプローチ(SAICM:サイカム)」を決定しましたが、あなたは、SAICM の「化学物質管理に関する 2020 年目標」(「2020 年までに化学物質のリスクを最小化する」)をご存知でしたか。【1 つに〇】

1. 大体知っている	1.0
2. 多少は知っている	2.0
3. 聞いたことはある	10.3
4. 知らなかった	86.7

問3. あなたは、下記のようなGHS(有害性の世界共通マーク表示制度)をご存知ですか。【1 つに〇】(環境省パンフレットより)



1. 大体知っている	2.8
2. 多少は知っている	19.9
3. 聞いたことはある	19.9
4. 知らなかった	57.4

問4. あなたは、上記のような GHS(有害性共通マーク表示制度)がついた製品を使用したり見たりしたことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 職場や学校などで使用した	5.7	(どこで、どんな製品でしたか)
2. 職場や学校などで見たことがある	17.7	(どこで、どんな製品でしたか	医薬品、化学物質保管場所等)
3. 家庭内で使用した	19.6	(どんな製品でしたか	カビとり、洗浄スプレー、ガスボンベ等)
4. 家庭内で見たことがある	11.7	(どんな製品でしたか)
5. 購入したことがある	9.2	(どこで、どんな製品でしたか	5-56、カビキラー、ボンベ等)
6. 販売しているのを見たことがある	25.6	(どこで、どんな製品でしたか	スプレー、殺虫スプレー、カビキラー等)
7. その他の場所で見たことがある	36.4	(どこで、どんな製品でしたか	テレビで、トラックの表示など)

◆家庭内の化学物質を含んだ製品について伺います。

問 5. あなたの家庭の中で使用している製品の中に、有害物質を含んでいるとあなたが思うものはありますか。あれば、具体的に製品名(いくつでも結構です)をあげてください。【1つに○】

1. ある	72.9(製品名	5-56、アースジェット、カビ取り剤、ボタン電池、防水スプレー、漂白剤)	2. ない
-------	----------	---------------------------------------	-------

問 6. 家庭の中で使用している製品の中で、有害物質が使われていると思われ、廃棄するときに注意している製品はありますか。あれば、具体的に製品名(いくつでも結構です)をあげてください。【1つに○】

1. ある	56.8(製品名	アースジェット、カビキラー、電池、除草剤、ゴキジェット)
2. ない		

問 7. 現在、お住まいの市町村では、家庭ごみとして、以下のものを分別回収していますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 電池	94.1	2. 蛍光灯	83.1	3. 体温計	49.2	4. 血圧計	19.0
5. 農薬	15.5	6. 塗料	13.8	7. 有害物質	12.4		
8. その他	3.6 (具体的に)

問 8. 合成洗剤や殺虫剤など、家庭内の化学物質を含む製品などの毒性表示は、適切だと思いますか。【1つに○】

1. 大体適切に表示されていると思う	2.8
2. 十分とは言えないが、一応表示されていると思う	31.5
3. 表示は、なかったりわかりにくかったりと不適切な場合が多いと思う	65.6

問 9. 家庭用品に含まれる化学物質の成分表示は、用途や種類によって制度や法律が異なり(たとえば、洗剤、殺虫剤、化粧品など)、同じ化学物質でも異なった表示がされることをご存知ですか。【1つに○】

1. 大体知っている	7.3
2. 多少は知っている	20.1
3. 聞いたことはある	23.0
4. 知らなかった	49.6

問 10. 家庭用品の成分表示について、今後どのようにしていけばよいと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 表示方法を統一すべきだ	66.5
2. 市民が理解できるような表示にすべきだ。	88.1
3. インターネット等で内容や毒性等を調べられるようにすべきだ。	44.9
4. ○○剤などでなく、具体的な成分を表示すべきだ	52.0
5. 表示を義務づける製品や化学物質を広げるべきだ	57.1
6. すべての製品について、メーカーに成分の情報公開を義務づけるべきだ	64.7
7. 苦情や相談窓口を設けるべきだ	32.8
8. その他(具体的に 「使用者側に立って製品の危険性を正直に表示してください」、「規制を強めて欲しい」、「客観的にわかりやすい説明を」)	4.6

◆化学物質による汚染やPRTR制度について伺います。

問 11. 以前(2000年前後ごろ)と現在を比べると、大気汚染や空気の汚染は、以下のような点で改善されたと思いますか、それとも悪化したと思いますか。【それぞれ1つに○】

(1) 自動車排ガス

1. よくなった	9.5	2. 多少はよくなった	51.7	3. 変わらない	28.9
4. やや悪化した	4.4	5. 悪化した	5.5		

(2) 工場等からの大気汚染

1. よくなった	1.1	2. 多少はよくなった	7.2	3. 変わらない	26.6
4. やや悪化した	24.1	5. 悪化した	40.9		

(3) PM2.5(微小粒子状物質)

1. よくなった	1.1	2. 多少はよくなった	7.2	3. 変わらない	26.3
4. やや悪化した	23.6	5. 悪化した	40.2		

(4) 光化学スモッグ

1. よくなった	4.1	2. 多少はよくなった	22.0	3. 変わらない	36.7
4. やや悪化した	18.3	5. 悪化した	18.8		

(5) シックハウス(建物の中の空気汚染)

1. よくなった	3.3	2. 多少はよくなった	36.8	3. 変わらない	36.7
4. やや悪化した	12.5	5. 悪化した	10.6		

(6) 柔軟剤や香料などの「香害」

1. よくなった	0.4	2. 多少はよくなった	2.8	3. 変わらない	10.7
4. やや悪化した	15.0	5. 悪化した	71.2		

問 12. 以前(2000 年前後ごろ)と現在を比べると、以下の環境汚染問題は、改善されたと思いますか、それとも悪化したと思いますか。【それぞれ 1 つに○】

(1) ダイオキシンや環境ホルモン

1. よくなった	1.3	2. 多少はよくなった	22.5	3. 変わらない	43.0
4. やや悪化した	15.2	5. 悪化した	18.0		

(2) 化学物質過敏症

1. よくなった	0.3	2. 多少はよくなった	6.8	3. 変わらない	24.5
4. やや悪化した	27.6	5. 悪化した	39.4		

(3) アスベスト

1. よくなった	5.9	2. 多少はよくなった	50.0	3. 変わらない	34.8
4. やや悪化した	5.0	5. 悪化した	3.8		

(4) 水銀

1. よくなった	8.5	2. 多少はよくなった	43.2	3. 変わらない	42.0
4. やや悪化した	2.8	5. 悪化した	3.5		

(5) プラスチック問題

1. よくなった	0.5	2. 多少はよくなった	8.0	3. 変わらない	20.0
4. やや悪化した	16.9	5. 悪化した	54.7		

(6) 農薬問題

1. よくなった	0.7	2. 多少はよくなった	11.2	3. 変わらない	41.9
4. やや悪化した	16.6	5. 悪化した	28.4		

問 13. 一定の化学物質を用いている工場や事業所に排出量や移動量の届け出を義務づけ、その情報を公開しているPRTR(環境汚染物質排出移動登録)制度をご存知ですか。【1つに○】

1. 大体知っている	9.8
2. 多少は知っている	13.8
3. 聞いたことはある	18.4
4. 知らなかった	58.0

問 14. あなたは、PRTR 制度で公開されている排出データ等を見たことがありますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 国(環境省など)のホームページで見たことがある	5.6
2. T ウォッチのホームページで見たことがある	2.9
3. エコケミストリー研究会のホームページで見たことがある	0.7
4. 自治体のホームページで見たことがある	2.0
5. 企業のホームページで見たことがある	2.1
6. その他のホームページで見たことがある(具体的に	0.7
7. 環境省の「市民ガイドブック」で見たことがある	10.0
8. 自治体作成のチラシ、パンフレット等で見たことがある	4.3
9. まだ見たことがない	80.3

問15. PRTR 制度では、2001 年度以降有害化学物質の環境中への排出量を公表していますが、2016 年度(直近の排出データ)までの 15 年間で、化学物質の環境中への排出・移動量はどの程度増減したと思われますか。【1 つに○】

1. 3 割程度増えた 11.3
2. 1 割程度増えた。 12.2
3. ほとんど変わらない 47.8
4. 1 割程度減った。 22.5
5. 3 割程度減った。 6.2

(実際のデータとしては、約 3 割減少しています。)

問16. PRTR 制度では、届け出の義務のある事業所のみならず、家庭等からの排出量(推計量)も公表していますが、ご存知でしたか。【1 つに○】

1. 大体知っている 5.7
2. 多少は知っている 5.9
3. 聞いたことはある 10.4
4. 知らなかった 78.1

問17. 家庭からの排出の多い物質は、以下のどれだと思いますか。【1 つに○】

1. 合成洗剤 87.9
2. 柔軟剤 4.6
3. 防虫剤、殺虫剤 5.2
4. たばこ 0.3
5. 塗料、シンナー 0.2
6. 接着剤(建材などに含まれる) 0.5
7. 消臭剤 0.8
8. その他(具体的に)

(実際のデータとしては、合成洗剤が約 6 割、防虫剤が約 2 割で全体の 8 割を占めています。)

◆リスク・コミュニケーションについて伺います。

問18. 「リスク・コミュニケーション」という言葉をご存知ですか。【1 つに○】

1. 大体知っている 3.5
2. 多少は知っている 6.7
3. 聞いたことはある 16.3
4. 知らなかった 73.5

問19. 企業や自治体が開催する、リスク・コミュニケーションに参加したことがありますか。【1 つに○】

1. 参加したことが何度かある 0.9
2. 参加したことが少しはある 1.4
3. 知ってはいたが参加したことはない 8.6
4. そういう催しがあること自体を知らなかった 89.1

問 20. お住まいの地域で、有害化学物質の排出や事故のリスクなどの点で、気になる工場、事業所等がありますか。【1 つに○】

1. かなりある 6.8
2. 多少はある 35.0
3. あまりない 33.9
4. ほとんどない 24.3

問 21. (前問で「気になる工場等がある」と答えた方に)それはどのような工場や施設ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 化学工場 31.0
2. 自動車、機械などの製造業 20.8
3. 石油コンビナート 6.6
4. 廃棄物処理施設 34.9
5. ガソリンスタンド 26.3
6. 大学・研究所 5.6
7. 発電所・変電設備 19.3
8. コインランドリー 29.9
9. その他(具体的に 16.1 看板業、クリーニング店、農地)
10. 気になる工場等は周辺地域にはない 10.8

問 22. 近くの工場や事業所について、火災や爆発などの事故時に、周辺に有害化学物質の飛散や流出の恐れを感じることはありますか。【1 つに○】

1. 大いに感じる 17.5
2. 多少は感じる 29.1
3. あまり感じない 29.3
4. ほとんど感じない 24.0

問 23. 近くにはないとしても、日本各地の工場や事業所について、火災や爆発などの事故時に、周辺に有害化学物質の飛散や流出の恐れを感じることはありますか。【1つに○】

1. 大いに感じる 63.5
2. 多少は感じる 29.2
3. あまり感じない 4.7
4. ほとんど感じない 2.6

問 24. 近くの工場や事業所が、地震、津波、洪水などの災害時に、周辺に有害化学物質の飛散や流出の恐れを感じることはありますか。【1つに○】

1. 大いに感じる 34.9
2. 多少は感じる 30.9
3. あまり感じない 21.8
4. ほとんど感じない 12.4

問 25. 近くにはないとしても、日本各地の工場や事業所について、地震、津波、洪水などの災害時に、周辺に有害化学物質の飛散や流出の恐れを感じることはありますか。【1つに○】

1. 大いに感じる 73.5
2. 多少は感じる 23.3
3. あまり感じない 3.5
4. ほとんど感じない 1.6

問 26. あなたがお住まいの自治体は、事故時、災害時の対応計画を作成していると思いますか。【1つに○】

1. 十分していると思う 1.5
2. ある程度はしていると思う 34.2
3. していると思うが不十分である 22.4
4. しているとは思いますが内容はわからない 32.3
5. しているとは思わない 9.7

問 27. 一般に企業や工場は、事故時、災害時の対応計画を作成していると思いますか。【1つに○】

1. 十分していると思う 1.1
2. ある程度はしていると思う 30.6
3. していると思うが不十分である 25.1
4. しているとは思いますが内容はわからない 35.1
5. しているとは思わない 8.1

問 28. 化学物質のリスクについて、今後市民にどのように知らせていくべきだと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 学校教育に取り入れる	80.4
2. 自治体等が説明会を開催する	45.7
3. パンフレット等を各家庭に配布する	64.9
4. 相談窓口を設ける	34.8
5. インターネット等で内容や毒性等を調べられるようにすべきだ	55.4
6. その他(具体的に	4.1

◆最後にあなたご自身のことについて伺います。

問 29. あなたの性別をお教えてください。【1つに○】

1. 男性	3.6	2. 女性	96.4
-------	-----	-------	------

問 30. あなたのお歳は、2018(平成 30)年 10 月 1 日現在、満で以下のどれになりますか。【1つに○】

1. 20～24 歳	0.2	2. 25～29 歳	0.8	3. 30～34 歳	6.8
4. 35～39 歳	16.1	5. 40～44 歳	21.9	6. 45～49 歳	20.1
7. 50～54 歳	11.8	8. 55～59 歳	9.1	9. 60～64 歳	5.7
10. 65～69 歳	4.4	11. 70～74 歳	2.3	12. 75～79 歳	0.7
13. 80 歳以上	0.2				

問 31. あなたの同居のご家族は、あなたを入れて全部で何人になりますか。【1つに○】

1. 1 人	2.5	2. 2 人	15.5	3. 3 人	24.0
4. 4 人	37.3	5. 5 人	14.9	6. 6 人以上	5.7

問 32. あなたの同居のご家族には、以下のような年代の方がおられますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 乳幼児	31.3	2. 小学生	44.7	3. 中学生	18.9
4. 高校生以上の未成年の方	16.4	5. いない	27.0		

問 33. 現在、お住まいの都道府県名、市(区)町村名を、おさしつかえなければお教えてください。

() 都道府県 () 市区町村